



ミライエ

観音寺の輝く未来へ 市議会の動きをわかりやすくお伝えします

3月定例会のあらまし 2
一般質問 5
審議結果10



人口 56,795 人
(2024.4.1現在 内外国人1,336人)
(対1月比 276人減)

お知らせ

本議会だよりでは、提出議案の一部を掲載しております。その他、議案などの詳細は市議会ホームページをご覧ください。



3月定例会の主な議案

Pick up!

—議案第16号—

人権擁護委員の候補者の推薦について

しらかわ まりこ 氏 たけがわ ますみ 氏 ふじかわ きょうこ 氏
みよし ひさえ 氏 ふじかわ よしき 氏 おかだ みちお 氏

- 令和6年6月30日をもって現職の任期が満了することに伴い、後任委員の候補者の推薦に同意した。

定例会が2月28日から3月22日までの24日間の会期で開かれた。提出された議案のうち、人事案件1件を初日に可決した。一般質問は6日に4人、7日に8人が市政についてたじた。各常任委員会では、付託された32議案と請願1件について審査した。最終日には、各常任委員会付託議案を原案のとおり可決・承認した。また、追加議案5件が提出され、原案のとおり可決した。

Pick up!

—議提議案第1号—

観音寺市議会議員定数条例の一部改正について

議員定数を「20人」から「18人」に改める。
次の一般選挙から適用する。

- 観音寺市議会議会改革検討協議会において、近隣市の状況や今後の人口推移などを勘案し協議を重ねた結果、議会の役割を果たすことができる議員定数として「20人」から「18人」とする提案があり、賛成多数で可決した。

Pick up!



－議案第25号－

令和6年度観音寺市一般会計予算

新規・拡充事業を中心に取り上げています。

のりあいバス運行事業

6,728万円

- 伊吹線を除く市内5路線でバスを運行する経費。また、利便性向上のためバスロケーションシステムを実装するとともに、利用者のニーズに柔軟に対応する公共交通システムとして、五郷地区においてデマンド交通の実証実験を行うもの。

再生可能エネルギー整備事業

1,076万円

- ゼロカーボンシティ達成のため、ゼロエネルギーハウスや電気自動車充放電設備、太陽光発電システムや定置型蓄電池の設備に対して補助を行う。また、ゼロエネルギーハウスについては、定住促進・子育て支援として申請者が40歳以下であれば、ゼロエネルギーハウスの補助金を20万円上乗せして家計負担の軽減を図るもの。

離島買い物支援事業

73万円

- 買い物が困難となっている島民の生活機能を維持するため、伊吹観音寺航路を利用し、食品等の移動販売を行う事業者に対し、移動販売用軽自動車1台および販売員1名の往復の運賃を助成するもの。

デジタル行政推進事業

9,617万円

- 「観音寺DX推進計画」に明記されている基幹システムの標準化、マイナンバーカード普及促進、行政手続のオンライン化などを推進していく。また、市公式LINEにChatGPTを利用したチャットボットを構築し、市民からの問い合わせに対する利便性向上を図るもの。

交流定住促進事業

93万円

- 交流、定住人口の拡大に向け、婚活支援イベントを支援するとともに、かがわ縁結び支援センター登録料の軽減や香川大学との域学連携事業を実施するもの。

地域防災推進事業

864万円

- 自主防災組織の機能強化、避難体制の強化、家具類の転倒防止対策を促進し、防災・減災体制を強化するべく、家具類の転倒防止対策や自主防災組織の機能強化、避難所などの資機材を充実させるもの。



新規就農者サポート事業

2,183万円

- 農家の子弟のみならず、将来にわたり農業を支える人材を確保するため、のれん分け就農を促進するとともに、技術の習得や機械・施設の整備などを支援することで、就農希望者が円滑に就農できる環境を構築するもの。

地域振興イベント推進事業

1,615万円

- 三大まつり（銭形まつり、萩まつり、豊浜ちょうさ祭）のほか、市地域振興イベント推進協議会で承認された事業に対して補助を行い、地域の活性化を図るもの。

観光施設整備事業

2,593万円

- 高屋神社本宮近くにあるくみ取り式トイレに、環境に配慮した排水再利用装置を設置し、衛生環境などの向上を図るもの。

耐震改修対策支援補助事業

1,270万円

- 耐震基準に適合しない民間住宅の耐震診断、耐震改修工事、耐震改修工事に伴うリフォーム工事、耐震シェルターなどの設置に要する経費の一部を補助するもの。

駅周辺環境整備事業

803万円

- JR豊浜駅前に屋根付き駐輪場を整備するもの。
★令和5年8月に開催した「高校生と市議会議員の意見交換会」でいただいた要望が実現。

不登校対策教育支援事業

103万円

- 教育センターにて支援教室（教育支援センターPlus）を開設し、不登校状態にある児童生徒の指導および保護者の教育相談、学校との連携を図るためのもの。

南・西統合公民館建設事業

296万円

- 老朽化した観音寺南公民館および西公民館の統合にむけて、建設に係る地質調査などを実施するもの。

親子交流支援事業

108万円

- 離婚などで離れて暮らすことになった一方の親と子どもが、定期的・継続的に心身ともに健康的で健全な交流をするための支援を行う団体に事業を委託し、子どもの健やかな成長を支援するもの。



諺問 茂
自民新政会

小中学校の給食費無償化に関して問う

答 弁 今後、国の動向を注視していく

〔質問〕全国的傾向として、1,600市区町村の約3割にあたる451自治体が小中学校の給食費の完全無償化を実施している。人口減少対策を考えた上で今後観音寺市も無償化すべきと考えるが、市の考えを問う。

〔答弁〕学校給食費の完全無償化については、国が次元の異なる少子化対策の一つとして、学校給食費の無償化の実現に向けた実態把握と課題整理などを行っているところであり、市として今後こうした国の動向を注視する。

南公民館の建て替えの進捗を問う

答 弁 令和11年度当初の供用開始を予定している

〔質問〕自治会長会にて南・西公民館を統合し、現南公民館の場所に建て替える案が出ているが、今後の進捗を問う。

〔答弁〕令和6年度より、地質調査・アスベスト含有調査を計画しており、また、南・西両自治会連絡協議会や利用団体等からの要望等を聴取し、必要な機能や建設規模をまとめた統合公民館の基本構想を策定予定。策定が完了した後、令和7年度以降に南公民館の解体に係る設計・工事、統合公民館建設に係る設計・工事を行い、令和11年度当初の供用開始を予定している。



立石 隆男
創風会

市の財政状況は

答 弁 市の活性化を図り健全な財政運営を確保する

〔質問〕令和6年度当初予算は、5年連続で増加との計画である。収入の自主財源である市税は増えていないが、支出の人件費や資材などの物価の高騰があり、市民生活も影響を受けている。市の財政状況について、どのように考えているのか。

〔答弁〕人口減少などの課題に対して、引き続き賑わい・交流の拠点づくりや企業誘致などに取り組み、市全体の活性化を図ることにより、市税などの自主財源の確保に努める。また、事業の集中と選択に努めるとともに、国や県の補助金、財源措置のある有利な地方債の活用で財政負担を軽減し、健全な財政運営を確保する。

窓口手続きの簡略化は

答 弁 マルチコピー機や申請書自動記入サポート機を設置する

〔質問〕窓口手続きの簡略化が進んできたが、「書かない窓口」とはどのようなものか。

〔答弁〕本庁や大野原・豊浜支所にマルチコピー機を導入し、コンビニと同じように、マイナンバーカードを使って証明書の取得ができるようにする。

また、令和6年度に、本庁や大野原・豊浜支所の窓口で、マイナンバーカード等を使って、各種申請書の届出人欄に氏名などの情報を自動で記入する、申請書自動記入サポート機を設置し、市民の皆様の利便性の向上に努める。



石山 秀和
公明党

銭形Kコインの浸透を質す

答 弁 「健康ポイントアプリ」の導入を検討する

〔質問〕「健康ポイント」をデジタル通貨に変換し使用できる健康寿命を延ばす励みになるアプリを提案する。

〔答弁〕そのポイントを地域通貨に還元すれば、市民の健康づくりへの動機付けにとどまらず、地域の元気向上を図る取り組みとなる。先進地の好事例を参考に、調査研究する。

新築される「観音寺市港湾センター」トイレ整備を質す

答 弁 24時間利用可能なトイレの設置を検討する

〔質問〕県が行う観音寺港湾護岸津波対策工事の実施に伴う「港湾センター」の建設概要を問う。

〔答弁〕再整備する施設には、安心・快適に使用できる24時間利用可能なトイレの設置を検討する。

高齢者の買い物支援を質す

答 弁 「買物弱者支援事業」として令和6年度予算に計上し実施する

〔質問〕サービスを提供する事業者に対するサポートについて問う。

〔答弁〕対象経費の2分の1以内、事業運営に係る費用については上限30万円、車両等の購入や改造、改良に係る経費は上限150万円の助成を行う。





大久保隆敏
立志会

のりあいバスを廃止し、タクシー券を配布してはどうか！

答 弁

デマンド実証実験の実施を踏まえ更なる利便性の向上に努める

〔質問〕のりあいバスが「不便である」との声が多く、毎定例議会にて、改善策が提案されている。そこで、のりあいバスを廃止してタクシー券を配布してはどうか。タクシーを3、4人で利用すれば個人負担は大幅に安くなり、お互いに連絡を取ることによって友達の安否確認も出来る。デマンドがシステムを導入するのに対し、個人で対応するため必要なし。

乱暴な提案かも知れないが見解を聞きたい。

〔答弁〕のりあいバスではアクセスが不便な場所や高齢者などの移動に十分対応できない場合などがあり、従来の交通手段だけでは対応が難しくなってきたので、新たな移動手段であるデマンド交通実証実験を実施する。

今後それを踏まえ、のりあいバスの運行を高齢者を中心に気軽に利用していただけるよう更なる利便性の向上に努める。



白川 雅仁
公明党

耐震対策に関する助成金の増額を

答 弁

市長会などを通じて国や県に増額を働きかける

〔質問〕本市の住宅耐震化率は、77%で、全国平均87%を下回っている。住宅耐震化が進まない要因の一つとして、改修費が高額であることが挙げられる。観音寺市民間住宅耐震対策支援事業の補助額を増額し、対策を加速することを提案する。

〔答弁〕耐震改修工事に対する補助額100万円の財源内訳は国50%、県25%、市25%となっており、増額には国や県の財源も必要になるため、市長会などを通じて国や県に働きかけていく。

5歳児健康診査の実施を
国や近隣自治体の動向を
注視しつつ、検討していく

答 弁

〔質問〕5歳児健康診査への国の助成事業が始まった。本市でも取り組むべきだと考えるが。

〔答弁〕5歳児健康診査は、発達や情緒の特性から集団行動などで特別な配慮が必要な児に対して早期に介入することで保護者の課題への気付きや生活への適応の向上につながる取り組みである。必要な支援につなげるフォローアップ体制が重要で、専門スタッフの確保や関係機関の協力など、実施には多くの課題がある。本市としては現在行っている巡回相談事業を継続しつつ、国や近隣自治体の動向を注視し、検討したいと考えている。



大平直昭
創風会

一の宮公園の活性化に向けた整備に関して

答 弁

香川県と協議しながら検討していく

〔質問〕新道の駅との連携による相乗効果を考えている一の宮公園の活性化に向けた取り組みについて質問、提案する。1点目、マリンスポーツに対応できる一の宮海岸の屋外シャワーの整備。2点目、多目的広場の舗装の早急な改修。3点目、様々なイベントで使える、組み立て式の簡易ステージの購入。その他に考えられている取り組みがあれば伺う。

〔答弁〕1点目の一の宮海岸の屋外シャワーの整備は、サップなどのマリンスポーツに対応が可能であり、また人々の交流の場となり得る構成要素でもあることから、施設所有者である香川県と協議・検討していく。2点目の多目的広場の舗装改修は、現在、香川県と協議を進めているが、具体的な対応などについては決まっておらず、引き続き、粘り強く前向きに協議を進めていく。3点目の組み立て式簡易ステージの購入は、風光明媚な海の景色を自由に借景でき、観光資源の磨き上げにつながるものであり、他のイベントでの利用も可能となることから、検討したいと考える。最後に、活性化に向けた取り組みについては、新道の駅との間に生まれる相乗効果を見据え、今後、施策を検討していく。





岸上 政憲
自民新政会

新道の駅に関し、国
交省との一体型整備
を提案する

答 弁

一体型として整備を行いたい

〔質問〕道の駅には「単独型」と、「一体型」の整備方法がある。事業費の縮小化を図るためにも国交省との一体型事業をすべきと考え提案するが、市の考えを問う。

〔答弁〕道路管理者と市町村で整備する「一体型」と市町村で全てを整備する「単独型」の2種類がある。本市として市の財政負担の軽減を図るためにも、一体型として整備したいと考える。

道の駅整備後、市設置施設以外の施設の運営には、独立採算制を取るべきと考える

答 弁

運営事業者のノウハウを最大限活用し、その事業収益をもって地域サービスへの還元や、運営管理を賄って欲しい

〔質問〕新道の駅整備後、市設置施設以外の市税を補填として毎年拠出し続けるような運営・経営とならない様、運営の独立採算制を取るべきと考えるが、市の考えを問う。

〔答弁〕運営事業者のノウハウを最大限に活用し、収益性の確保に努めていただき、その事業収益をもって地域サービスへの還元や、運営管理を賄っていただきたいと考える。



伊丹 準二
自民新政会

公共整備の進捗状況は

答 弁

市民の皆さまに分かりやすく伝える方法を検討する

〔質問〕長期間工事が停止しているように思われる箇所が見受けられるが、計画通り公共工事は進捗しているか。

〔答弁〕建設課において長期計画に基づき整備をしている路線は、社会資本整備総合交付金事業として、市道国道長谷線、市道栗屋堂之岡線（堂之岡工区）、市道庁舎西線、市道観音寺大野原線の4路線、また、地域連携道路事業として観音寺スマートインターチェンジへの接続道路の市道駅池連絡1号線、市道駅池連絡2号線の2路線で、現在計画されているものは全て見通しがたっている。

功績を称えるべきではないか

答 弁

懸垂幕を作成し、掲示することも検討する

〔質問〕スポーツ活動に限らず文化活動を含め、本市に居住する方などの活躍に対して、その功績を称えるべきではないか。

〔答弁〕本市に居住する人などの活躍に対して、その功績を称え、市民に広く周知することは、スポーツの振興および発展に寄与するものと考ええる。

今後、世界大会などで、極めて優秀な成績を収めるなど、市民に誇りと本市への愛着を育むような活躍があった場合は、懸垂幕を作成し、掲示することも検討する。



藤田 均
無所属(共産)

原油・物価高騰対策が
届いていない人へは

答 弁

厳しい人々へ支援が届くよう講じる

〔質問〕昨年の所得税減税に続き、今回は住民税非課税世帯に7万円支給し、事業者支援も行った。どう具体化したか。

〔答弁〕2月27日時点で、中小業者向け支援金は673件申請で約7,100万円、農林業者支援金は、694件で約2,400万円、漁業者支援金は、36件で180万円などをすでに交付済み。

教職員の長時間労働の解消を伺う

答 弁

教職員の勤務時間の縮減に取り組む

〔質問〕市教員の欠員は何人。残業時間が月45時間を超える人数と割合は。本市の今後の取り組みは。

〔答弁〕欠員はない。月45時間を超える教員の割合は4月に70%、12月に30%。支援員は、今年度に続き来年度も4名増の予定。令和6年度から小中学校とも学年始休業日を1日延長し、新学期の準備時間を確保する。小学校は授業時数を週30時間から29時間に短縮する。校務支援システム等の導入で業務の効率化を目指す。





豊浦孝幸
創風会

中心市街地活性化基本
計画の策定に関して

答 弁 関係部署と協議しながら
検討する

〔質問〕 JR 観音寺駅を中心とする中心市街地
区域に対して今後のあり方を住民・事業者・商
店街・行政と連携してどのような街にしていく
か話し合いを始めることが必要かと思う。また、
実現に際して国の支援を得るためには中心市街
地活性化基本計画が必要となる。

〔答 弁〕 平成24年度から中心市街地地区都市再
生整備計画、令和3年からは観音寺市立地適正
化計画を策定し、各計画にて都市機能、居住機
能の集約による人口集積を図ることで、コンパ
クトなまちづくりを進めることとし、観音寺地
域、大野原地域、豊浜地域をそれぞれの特性を
生かした拠点として整理し、各拠点を公共交
通で接続する、コンパクトプラスネットワーク
による持続可能なまちづくりを目指している。
観音寺駅周辺の中心市街地の活性化について
は、本エリアが中心市街地として果たすべき役
割の観点から、今後もさらなる中心市街地の活
性化に向けて、都市計画マスタープランや立地
適正化計画などに沿って、関係部署と協議しな
がら検討したいと考えている。



三好優子
無所属

観音寺駅南側駐輪場
の整備に関して

答 弁 市は管理者として整理な
ど随時対応している

〔質問〕 屋根付きの駐輪場を設置する計画はあ
るか。また、利用者が気持ちよく使用できるた
めの環境を整える手段は考えているか。

〔答 弁〕 屋根付きの駐輪場の設置について、前
向きに検討し、今後、区画線やホルダーの設置
により駐輪位置の明確化や啓発看板による利用
者のマナー向上への取組強化など、適正な管理
に努める。

答 弁 被災時に路面の損傷などにより、
道路以外での輸送方法も検討する

〔質問〕 豊浜の港を「海路」として利用するこ
とは可能か。また、新道の駅にヘリポートとし
て使えるスペースを設置する計画は。

〔答 弁〕 近接する県管理地方港湾の豊浜港につ
いて、今後、救助・輸送活動等を行う港として
位置付けるよう、県と協議を行う。また、空路
については、発災直後、人命にかかわる救急輸
送や被災地への緊急支援物資輸送の際に、極め
て重要な役割を果たす輸送手段と考えており、
平常時は利用者のためのスペースとして
して、有事の際はヘリポートとして
活用できるよう、関係機関と調整す
る。



合田千佳子
創風会

防災に関して、避難
するのに何が必要か

答 弁 総合防災マップにある「わが家の
避難行動マニュアル」を参考に

〔質問〕 具体的にはどうしたらいいか。

〔答 弁〕 ①事前に家族と避難につい
て話し合って決める。
②ハザードマップなどで今いる場所
の危険性を確認する。
③テレビ、市の防災行政無線・防災ラジオ、ホ
ームページ、SNSなどで正確な情報入手する。
④災害が発生する前に安全な場所に避難する。
避難する場所は、「安全な場所に避難」が原則で、
避難所避難、在宅避難、車中避難、親戚・知人
宅への避難など様々な形態がある。

公立の一時預かりに関して伺う

答 弁 大野原こども園にて「ひなた
ぼっこ」の名称で実施している

〔質問〕 観音寺市での一時預かりの現状と今後
の方向性を伺う。

〔答 弁〕 大野原こども園にて「ひなたぼっこ」
の名称で、保育士資格を有する職員3名を配置
し、実施している。実施日時は、土曜日を除く
こども園開所日の午前8時半から午後5時まで、
週2回まで利用でき、料金は1時間250円と
なっている。

利用者が多くなったため、本年1
月より、保育士を1名増員し、4人
体制で対応している。



掲載できなかった代表質問

氏名	質問件名
詫間 茂 (自民新政会)	<ul style="list-style-type: none"> ●市長の三大公約について ●国内外の地方都市との姉妹都市提携について ●公園整備について ●公共施設の削減について ●正社員の壁について ●五輪・パラ知見、健康増進への活用について

氏名	質問件名
石山 秀和 (公明党)	<ul style="list-style-type: none"> ●財政について ●情報発信のあり方について ●国道11号の拡幅工事の進捗、スマートインター工事の進捗、遺跡調査の現状について ●雇用について ●少子化対策について ●防災・減災対策について
大久保隆敏 (立志会)	<ul style="list-style-type: none"> ●施政方針について

掲載できなかった個人質問

氏名	質問件名
大平 直昭	<ul style="list-style-type: none"> ●施政方針について
岸上 政憲	<ul style="list-style-type: none"> ●防災について ●市所有施設の蛍光灯交換計画について
藤田 均	<ul style="list-style-type: none"> ●保育士配置基準76年ぶりの見直しについて ●有機農業の振興と学校給食への利用について ●給食への補助を、アレルギーで弁当持参の生徒・児童へ出すことについて ●子どもの医療費無料化と選定療養費7,700円について

氏名	質問件名
豊浦 孝幸	<ul style="list-style-type: none"> ●施政方針について ●地域おこし協力隊について ●産業振興について ●市民サービス、庁内デジタル化について ●公民館について ●人材交流について
三好 優子	<ul style="list-style-type: none"> ●伊吹島の買い物について
合田千佳子	<ul style="list-style-type: none"> ●住民参加型の行政推進について

議案の審議結果

※提出議案などの詳細は、市議会ホームページ「提出議案等」をご覧ください。

令和6年第1回（3月）定例会

● 全会一致の議案

議案番号等	議案名	議決結果
議案第1号	専決処分の承認について（令和5年度観音寺市一般会計補正予算（第7号））	承認
議案第2号	専決処分の承認について（令和5年度観音寺市一般会計補正予算（第8号））	//
議案第3号	専決処分の承認について（令和5年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号））	//
議案第4号	観音寺市組織条例の一部改正について	原案可決
議案第5号	観音寺市附属機関設置条例の一部改正について	//
議案第7号	観音寺市特別会計条例の一部改正について	//
議案第8号	健康交流施設「おおのはら」条例の一部改正について	//
議案第9号	観音寺市国民健康条例の一部改正について	//
議案第11号	観音寺市介護保険介護給付費準備基金条例の一部改正について	//
議案第12号	観音寺市介護保険法関係手数料条例の一部改正について	//
議案第13号	観音寺市空家等対策の推進に関する条例の一部改正について	//
議案第14号	観音寺市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部改正について	//
議案第15号	観音寺市漁港管理条例の一部改正について	//
議案第16号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
議案第17号	字の区域の変更について	原案可決
議案第18号	市道路線の認定について	//
議案第19号	指定管理者の指定について	//
議案第20号	令和5年度観音寺市一般会計補正予算（第9号）	//
議案第21号	令和5年度観音寺市施設貸付事業特別会計補正予算（第2号）	//
議案第22号	令和5年度観音寺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	//
議案第23号	令和5年度観音寺市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	//
議案第24号	令和5年度観音寺市下水道事業会計補正予算（第3号）	//
議案第26号	令和6年度観音寺市国民健康保険事業特別会計予算	//
議案第27号	令和6年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計予算	//
議案第28号	令和6年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計予算	//
議案第29号	令和6年度観音寺市介護保険事業特別会計予算	//
議案第30号	令和6年度観音寺市介護予防サービス事業特別会計予算	//
議案第31号	令和6年度観音寺市粟井財産区特別会計予算	//
議案第32号	令和6年度観音寺市粟井坂瀬山林特別会計予算	//
議案第33号	令和6年度観音寺市下水道事業会計予算	//
議案第34号	観音寺市監査委員条例の一部改正について	//
議案第35号	観音寺市下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	//
議提議案第2号	地方自治法第180条第1項に基づく観音寺市長専決処分事項の一部改正について	//

● 賛否の分かれた議案

※議長には可否同数の場合のみ裁決権があります。
 ※○…賛成 ●…反対 欠…欠席 除…除斥 退…退席

議案名等	議員名												議決結果					
	三好優子	藤田均	篠原和代	白川雅仁	石山秀和	篠原重寿	大久保隆敏	詫間茂	岸上政憲	大矢一夫	大賀正三	伊丹準二		豊浦孝幸	立石隆男	合田千佳子	大平直昭	井下尊義
	無	無共	無自	公明党	立志会			自民新国会					創風会					
議案第6号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第10号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第25号	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	//
請願第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	●	●	○	○	●	採 択
意見書案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	●	●	○	○	●	原案可決
議提議案第1号	○	●	○	○	○	●	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	//

※会派別五十音順

※無所属（会派に所属していない議員）…自由民主党、日本共産党

オープンカフェ『ミライエ』

高校生の意見が市政を動かしました！

昨年度に開催した高校生との意見交換会オープンカフェ「ミライエ」で寄せられた高校生の声を市に提案し、実現することとなりましたのでお知らせします。

JR豊浜駅の駐輪場整備要望が令和6年度に事業化され、駅前に屋根付き駐輪場が整備されます。高校生を含め利用者の利便性が向上します。



本年も市民フォーラム開催します！

テーマ 災害から学ぶ「命を守る行動」と「生き延びるための行動と備え」

日時 6月30日(日) 13時～

場所 ハイスタッフホール 多目的ホール

- ①能登半島地震への災害応援に行った方から、被災地の現状を聞いてみませんか
- ②どういった備えが有効なのかな？一緒に考えてみませんか
- ③南海トラフ地震想定映像と防災クイズ
- ④防災展示を見て、自宅の備えをもう一度考えてみませんか

来場者 先着200名様に備蓄水とアルファ米をプレゼント！



夏休み 親子議場見学会

2024年8月4日(日) 10時～

観音寺市役所5階

対象は市内在住の小学生とその保護者

議会の仕組みを
学びます。

どんな仕事をしているの？
どんな人が議員になれるの？
願いは聞いてもらえるの？

クイズラリー

5階フロアのいろんな
ところにクイズがあるよ！
ヒントは議員に
聞いてみよう！

議場de質問会

議員体験をしてみよう！
君の質問に
真剣に答えてくれます。

6月頃に応募方法などお知らせいたします。





この写真は、紫陽花を撮影しているときに偶然ハチが飛んできて撮れたものです。

とてもきれいな紫陽花とハチを楽しむことができます。

（『いただきまーす』 榎田 涼羽）



栗島へ撮影に行ったとき、細道を抜けていった先に咲いていた花を撮ったものです。花壇に植えられていたり、花畑の中にあつたりしたわけではない野生の花だったうえに、自分は植物については詳しくないので、その花の名前も分からなかったのですが、何か惹かれるモノを感じ、思いつきで撮影したところ、まるで楽園のような美しい風景を撮ることができました。

（『楽園』 森 一真）



この写真は5月ごろに学校近くのもみじを撮ったものです。もみじは秋が一番の見ごろだと思いがちですが、春のもみじも青々としていて魅力があります。これからも四季の変化をカメラにおさめていきたいです。

（『新緑』 川崎 万結）



「初夏」と呼ばれ、少しずつ夏に入り始める5月。段々上がっていく気温と共に夏の訪れを感じていると、道端にも夏を運んできた虫の姿がありました。

（『夏を連れてきた虫』 大倉 涼太郎）

6月定例会
の予定

5月30日	6・7日	10日	11日	12日	18日
本会議	本会議（一般質問）	文教民生委員会	建設経済委員会	総務委員会	本会議

広聴広報委員会

委員長	三好 優子
副委員長	豊浦 孝幸
篠原 重寿	白川 雅仁
詫間 茂	合田千佳子
岸上 政憲	

編集後記

新型コロナウイルス感染症も昨年5月に第5類になり、ここ4年余りは制約をされた生活でしたが、やっと元の状態になりつつあります。

3月議会では、6日に4名の議員が代表質問を行い、7日に8名の議員が個人質問に立ち市施策について問いただしました。

質問内容は施政方針についてが一番多く、これからの市の方向性を伺う質問が続きました。中でも令和6年度の予算は、かなり踏み込んだ質問があり、市長も慎重に答弁をしていました。

広聴広報委員会では、昨年同様に市民の方と意見交換の出来る市民フォーラムと意見交換会を行う予定にしています。今回の市民フォーラムでは、元日に起こった能登半島地震を受け、ここ30年以内に高い確率で起こると予測されている東南海大地震（南海トラフ大地震）を想定し命を守ることを一番に考え「分かりやすく・備え・体験する」フォーラムを考えております。また、小学生と保護者を対象とした、議会について知っていただくための親子議場見学会を企画中です。出来るだけ多くの市民の皆さまの参加をお待ちしております。

広聴広報委員会委員

詫間 茂

